

# 社会保険労務士 丸山事務所通信

本事務所通信は事務所の顧客さま、名刺交換をさせて頂いた方、FAX番号、メールアドレスを教えた会社さんへお送りしております。不要の方はお手数ですがメール、FAX、電話等でその旨をご連絡下さいますようお願い申し上げます。

## A I（人工知能）革命

近年、「A I（人工知能）が社会やビジネスを大きく変える」と盛んに言われています。今月は、A Iと従来のI T技術との違い、小規模の会社における活用の可能性について筆者自身の体験を交えてご紹介します。

### I TとA Iの違い

従来のI T化は、作業の「自動化・省力化」が中心でした。計算、記録、検索、伝達といった定型業務を、コンピュータが人間の代わりに正確に処理する仕組みです。これらは、あらかじめ人間がルールを設定し、その通りに動かすものです。システム導入やカスタマイズが必要となるため、小規模の会社にとっては導入コストや運用負担が大きいという課題がありました。

一方、A Iは「知的作業の自動化」を可能にします。文章作成、要約、判断、企画、分析など、これまで人間が頭を使って行ってきた業務を、A Iが簡単にこなせるようになりました。特に生成A Iは、人間の指示を理解し、必要な文章や資料を“自ら作り出す”点が大きな特徴です。従来のI Tが「道具」であったのに対し、A Iは「共同作業」に近い存在と言えるでしょう。A Iは従来のI T化の延長線上にありながら、人間の知的活動そのものを補完するという点で、まさに“革命”と呼ぶにふさわしい技術です。

### A Iの利点

A Iの最大の利点は「導入のしやすさ」です。従来のI T化でも、Excelを使って単に縦横計算する程度であれば、大きな負担なしに成果を上げることができました。しかし、それ以上の機能を求める場合には、プログラムの開発やシステム導

入が必要となり、費用が発生しました。

ところが、A Iはパソコン1台ですぐに利用できます。たとえば、社内文書の作成、求人票の作成、面接質問の準備、業務マニュアルの改善、営業メールの作成、プログラムコードの作成など、日常業務の多くをA Iがサポートしてくれます。

### プログラムコードの作成例

筆者自身の体験を紹介します。趣味の英語学習用に、文章の表示と音声ファイルの再生をExcelシートで行っていました。しかし、Excelではいつでもどこでも利用することが難しく、スマホアプリへの移植を考えるようになりました。

繰り返し再生や再生速度の設定、学習記録の作成など十数項目の希望をまとめA Iに可能性を尋ねたところ、「すべて可能」との返答でした。スマホアプリの作成知識が全くなかったため、まず何から始めればよいか、開発にパソコンが使えるか等を尋ねたところ、A IはGoogle 開発のFlutterという環境とDartなる言語を勧めてくれました。

その後、開発環境の整備や操作方法をA Iに教わりながらコードの作成も依頼することで、わずか1ヶ月後には、スマホアプリ開発に無縁だった“ど素人”が、それなりのアプリを完成させることができました。まさに衝撃的な体験でした。

### まとめ

小規模の会社にとって、A Iの最大のメリットは「大会社並みの生産性を低コストで実現できる」点です。まだA Iを体験されていない方は、無料で使えるGeminiやChatGPT、あるいはCopilotなどの生成A Iに触れてみることをお勧めします。きっと新しい可能性を感じるはずです。

## 就業規則定期点検の勧め

法改正や社会の価値観が変化するに伴い、会社求められる就業規則もそれに合わせて変化させることが求められます。少なくとも年一回は就業規則を点検し、必要な修正を加えることをお勧めします。

## 社会保険労務士丸山事務所

〒330-0852

埼玉県さいたま市大宮区大成町1-515

所長：丸山峰雄（特定社会保険労務士）

Tel・Fax:048-637-4387

e-Mail:info@office-maruyama.jp

ホームページ: <http://www.office-maruyama.jp>